

# いざなみ

No.168  
2012年11月

## 長崎県立長崎図書館創立100周年記念式典開催



中島館長のあいさつ

創立100周年記念式典を9月30日に、本館2階講堂で開催し、一般参加者を含む約200名の方に、ご出席いただきました。

式典で中島洋館長は、図書館が取り組まなければならない課題を「知の拠点としての充実」、「県内の地域差を起因とする情報格差の解消」と述べ「これからも時代の変化に対応するため自らが変革し、50年、100年後にふさわしい県立長崎図書館を目指し、何事にも果敢に取り組む」と挨拶しました。

この後、本県の読書活動の推進、県内公共図書館の充実・発展に寄与された本館ボランティア団体の「読み聞かせの会」、「長崎県読書グループ連絡協議会」、「長崎県公共図書館等協議会」そして、本館の旧館模型を製作・寄贈された「県立長崎工業高等学校インテリア科」に感謝状を贈呈しました。

また、県立長崎東中学校吹奏楽部による演奏、アサヒグループホールディングス株式会社相談役で長崎大学経済学部出身の福地茂雄氏による「読書から学ぶ経営の知恵」と題した講演があり、盛会のうちに無事終了しました。



県立長崎東中学校吹奏楽部の演奏



福地茂雄氏の講演

### もくじ

- |                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| ◎ 長崎県立長崎図書館創立100周年記念式典開催           | ..... P 1 |
| ◎ 長崎ゆかりの文学展第3回企画展、第26回図書館講座、植木家資料展 | ..... P 2 |
| ◎ 資料紹介＜もう一つの100周年＞                 | ..... P 3 |
| ◎ 県内図書館散歩・パスファインダー(調べ方案内)の設置       | ..... P 4 |
| ◎ 特別寄稿(県立長崎図書館創立100周年に寄せて)         | ..... P 5 |
| ◎ お知らせ、行事案内等                       | ..... P 6 |



2012年(平成24年)、県立長崎図書館は創立100周年!

## 第3回企画展

### 「斎藤茂吉と長崎～生誕130年茂吉展～」開催中

県立長崎図書館では、本県にゆかりのある作家や文学作品を中心に、「長崎ゆかりの文学展」として、年間4回の企画展を開催しています。今秋の企画展では、今年生誕130年を迎えた斎藤茂吉と長崎の関わりを取り上げています。近代短歌における巨人・斎藤茂吉は大正6年12月から同10年3月までの3年あまり、長崎医学専門学校（現長崎大学医学部）の教授として長崎に在住しました。教授として教鞭を執る一方、歌論においては短歌における「写生説」を確立し、長崎の若き歌人たちの育成にあたるとともに、長崎に在あるいは長崎を訪れた文化人とも幅広く交流するなど旺盛な文学活動も行いました。

今回の企画展では、斎藤茂吉の直筆資料や著作本、写真などを展示し、茂吉が長崎に残した足跡を紹介しています。会期は12月2日(日)までです。この機会にぜひご来館ください。



### 第26回 県立長崎図書館講座

#### 斎藤由香氏による講演「イキイキと元気に生きるコツとは？『どくとるマンボウ家の素顔』を開催しました。

長崎ゆかりの文学展 第3回企画展「斎藤茂吉と長崎～生誕130年茂吉展～」に連動した文学講座を9月9日(日)に開催しました。祖父に歌人の斎藤茂吉、父に作家の北杜夫を持つ斎藤由香氏（エッセイスト）を講師にお迎えしました。講演では、80歳でエペレスト、85歳でガラパゴスと、世界108カ国を旅行した祖母・輝子の気骨あふれた生き方や躁うつ病だった父・北杜夫の話など、『どくとるマンボウ家の素顔』に迫る楽しいお話をいただきました。斎藤氏のユーモアにあふれた語り口に、200人を超えた聴衆で熱気に包まれた会場は笑いが絶えませんでした。

受講者からは、「大変楽しくためになる講演で、元気をもらいました。」「ユーモアを大切に80%の満足を心がけて、これからも楽しく明るく生活していくかたいと思いました。」等の感想が寄せられ大変好評でした。



## 植木家資料展

明治から昭和にかけて、実業家・政治家として島原半島の発展に尽力した、植木元太郎関連の資料展を、本館2階ロビー（8月18日～9月17日）及び島原図書館内松平文庫展示室（11月1日～11月29日）で開催しています。11月10日(土)には、島原図書館（視聴覚ホール）で「島鉄創業者植木元太郎の挑戦 一島原から日本へー」と題して、植木家資料整備事業に携わった方々による座談会が開かれ、植木元太郎の業績が地元で披露されました。

本館では植木家資料を2.5万点以上一括所蔵しており、近代史の貴重な資料として公開しています。





## 資料紹介 ~もう一つの100周年~



県立長崎図書館の創立100周年の記念式典が9月30日行われました。今年生誕100年という節目を迎えた企業や人物はいくつかありますが、映画会社「日活」もその一つです。

そして日活誕生には長崎出身の梅屋庄吉が関わっていることをご存じですか？

1912年、長崎出身の梅屋庄吉のM・パテー商会が提案し、当時あった映画会社4つが合併し日活が誕生します。その後、資金不足となり立案者の梅屋は引責辞任してしまいますが、梅屋庄吉がいなかったら今日の日活の姿は見られなかつたのかもしれません。

戦前、戦後と人気映画を世に送り出し、人々の生活の中に映画という娯楽文化を築き、石原裕次郎、小林旭、吉永小百合など語り継がれる数々のスターを生み出した日活、日本映画史上その名は後世に輝き続けることでしょう。今回はそんな日活に関する資料の紹介です。

映画産業がいまだ若き昭和初期、監督伊藤大輔と俳優大河内傳次郎、ともに新人だった彼らは日活の撮影所で出会い「忠治旅日記」「新版大岡政談」といった傑作を作り上げ、国定忠治、丹下左膳という時代劇のヒーローを生み出した。

チャンバラ映画の名作を生んだ巨匠と名優の歴史が多数の写真と解説で解き明かされる。

『アサヒグラフ 1998年9月4日号(3989号)』



兄、石原慎太郎の著作「太陽の季節」が1956年芥川賞を受賞。刺激的で退廃的ともいえる若者たちの姿を写したこの作品は世に大きなセンセーションを巻き起こす。日活が映画化をするにともないこの映画で弟、石原裕次郎はデビューする。当時多くの若者に影響を与えた石原裕次郎の人となり生き方そして仕事に対する思いを知ることができる。

『我が、石原裕次郎』  
川野泰彦 著 報知新聞社

日活の創業五十年を記念して発刊される。今はなき日活が経営するゴルフ場、ホテル、各劇場の資料など1962年当時の日活の状況を知ることができる。また名場面集として大正時代から昭和30年代に制作された映画が時代順に内容、制作者とともに場面写真付きで紹介されており、映画の歴史を垣間見ることができる。

『日活五十年史』  
日活株式会社 編集・発行



# シリーズ 県内図書館散歩⑧ ー対馬市立つしま図書館ー



つしま図書館は、対馬市南部の旧厳原町の厳原市街地中心部に、市街地再開発事業として建設された、公共施設と商業施設が融合した4階建て複合ビルの4階部分に、平成18年10月1日に開館いたしました。

内装は、床や書架等に地元の対馬産ヒノキを使用し木のぬくもりを感じられる造りになっています。

年間行事としては、毎月第3土曜日にボランティアのご協力により「おはなし会」を開催しています。

また、毎年10月の第3土曜日を「つしま図書館の日」に設定し開館周年記念事業として「としょかんまつり」と題し、周年イベント事業も行い、今年の参加人数は180人を超え、地域に密着したおはなし会になってきました。

ほかには、学校移動図書の実施や市内の小中学校への読みきかせ指導、職場体験・職場研修の受入など学校連携にも力を入れています。

また、県の委託事業として今年度は、10月から翌年2月まで計5回、「図書ボランティア養成講座」も実施しております。

利用者については、市街地中心部に位置し商業施設との複合施設のため、親子連れの幼児からお年寄りまで幅広い年齢層の利用も多く、小・中・高生の利用も多く見られます。

これからも、市民のニーズにあった図書館運営と利用者に親しんでいただけるような図書館づくりに努めたいと思います。



## 県立長崎図書館3階閲覧室にパスファインダー(調べ方案内)を設置しました。

### パスファインダー(調べ方案内)とは…

パスファインダーとは、path(小道)とfinder(発見者)の複合語で、あるテーマや話題についての資料や情報を探したいときの参考に、手始めとなる基本資料の一部や、調べ方を簡単に紹介した手引きです。適切なキーワードを選択し、資料の特徴を理解しておくことで、図書館でより効率的に、探している資料を見つけることができます。

皆様の資料・情報収集にぜひお役立てください。

今回、医療や病気についてのパスファインダーを医療コーナーに設置いたしました。

- 高血圧について調べる。
- 心臓病（生活習慣病）について調べる
- 糖質異常について調べる。
- 糖尿病について調べる。
- 脳卒中について調べる。
- 肥満について調べる。



## 学びほぐす

元県立長崎図書館長 廣田 熱 氏

県立長崎図書館が創立百周年を迎えました。関係各位と県民の皆様のご支援の賜と深く感謝いたしております。

館長職を辞してから二年が過ぎようとしています。公職を離れ、よりよく生きたい、夢中になれるものを見つけたいという思いから、さまざまなことを試みています。農業研修や木工、ビデオ編集などですが、いずれもほとんど零からの出発です。仕事をするためには、どうしても本が必要になります。そのために、週に二～三回は近くの図書館（県立長崎図書館、諫早市立森山図書館・たらみ図書館）を巡ります。図書館は、年齢、性別、国籍、信条を問わずすべての住民に開かれています。本に囲まれ、いい本を手にすると、何か身が引き締まるというか、向上しようという気持ちが起きます。自由に使える時間も十分にあり、自分の意欲と能力によって自分の力を伸ばすことができるという図書館の真価を、今、まさに実感しています。

最近、図書館で出会った本のなかで心に響いた言葉があります。大江健三郎氏のエッセイ「定義集」で、新聞に掲載された鶴見俊輔氏のコラムの引用。「大学で学ぶ知識はむろん必要だ。しかし覚えただけでは役にたたない。それを『学びほぐし』たものが血となり肉となる。」特に、「学びほぐす」という言葉。もう一つは、帚木蓬生氏の近刊「日御子」の主人公が受け継いだ三つの綻の一つ「良い習慣は才能を超える」という言葉。心から共感できる言葉でした。当面の私の習慣は、以下のようなもとしたい。「朝早くおきて約二時間、畑を耕し作物を育てる。日中は雑事をこなし、様々な経験を積み重ねる。日が沈む前の薄暮のなかで、また畑を見廻る。そして、図書館を巡り、新たな本との出会い「学びほぐす」ことを楽しむ。」

さて、県立長崎図書館は、いつまでも私たちの暮らしの隣にあって、入れば気持ちが休まる、安らぎを与えてくれる場所であってほしい。建物は老朽化しており、新しい建物はもちろん必要ですが、そこで豊富に役立つ資料群と、資料と人を結びつけてくれる優れた司書がいなければなりません。図書館は「本の森」によく例えられます。森の木は、図書館の本をはじめとするさまざまな資料です。新しい本は若い木、森を維持するために、枝おろしをし、枯れた木は間引かなければなりません。そのような森の手入れは、図書館でいえば、開架フロアの役目を終えた本は抜き取り、新しい本を加えることが必要です。

その大きな役割を担うのが司書です。司書は深い教養、資料についての広範な知識、選択の理論と技法、などを身につけておくことが必要です。単に図書館に関する知識があるだけでは、司書は務まりません。これから県立長崎図書館は、本と人をつなぐ優秀な司書が多い図書館として、また司書の研修を大事にし、司書を育てる図書館としてこれまで以上に発展していくってほしい。

## 障害者ふれあいブックメールサービスについて

身体的障害等のため図書館の利用が困難な方へ、郵送による資料の貸出を行っています。送料は県立長崎図書館が往復負担します。

登録申込書および添付書類の提出が必要ですので、詳しくは県立長崎図書館までお問い合わせください。

### <対象者>

区分	身体障害者手帳
両下肢、体幹、移動機能の障害、視覚障害	1級もしくは2級
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害	1級から3級



## 長崎県の情報 及び 県内観光情報コーナーの設置について

本館2階ロビーに「長崎県の情報コーナー」及び「県内の観光情報のコーナー」を設けております。

「長崎県の情報コーナー」では、長崎県が発行するパンフレットやチラシ等を集め、配布・展示しています。県内情報の収集は、図書館から。

「県内の観光情報コーナー」では、各市町及び各観光協会から取り寄せたパンフレット等を配布・展示しています。まずは、県内をさるいてみませんか。

## お知らせ・お願い



### 蔵書の点検・整理等に伴う休館のお知らせ

蔵書の点検・整理のため、下記のとおり休館します。休館中は、本の貸出・調査相談・予約の業務を休止します。  
利用者の皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。  
なお、休館中の本の返却については、本館玄関横の「返却ポスト」をご利用ください。

**期間 平成25年1月29日(火)～2月7日(木)**

### 臨時保管庫等の資料移設に伴う利用停止のお知らせ

臨時保管庫（茂木書庫）で保管している資料及び本館で保管している資料の一部を移設します。これに伴い、下記の期間、移設する資料のご利用を順次停止させていただきます。

利用者の皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

**期間 平成24年11月20日(火)～平成25年2月28日(木)**

## 催し物のご案内

### 長崎ゆかりの文学展

#### (第4回企画展)

#### 「収蔵品展～県立長崎図書館100年の芳名録から～」

(平成24年12月18日～平成25年3月30日)

場所：県立長崎図書館4階郷土資料展示室

時間：9:30～17:00 (ただし休館日を除く)

